

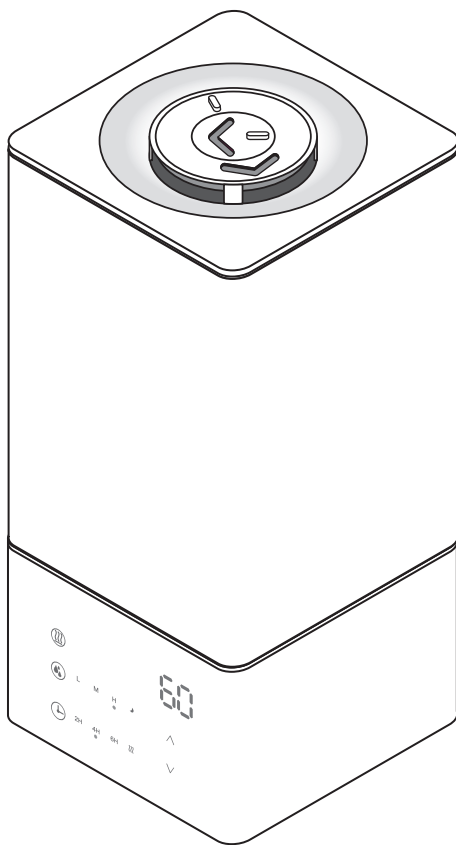
お取り扱い説明書

ハイブリッド超音波加湿器

KNA88117

この度は、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用頂く為に、必ず本書をお読みください。また、本書は読み終えた後も大切に保管してください。



仕様

品番	KNA88117
寸法	約160W×160D×325Hmm (電源ケーブル約1.6m)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	140W (ヒーターオフ時:24W)
加湿方式	超音波、超音波+ヒーター
加湿性能	1時間当り Low 約100ml / Medium 約200ml / High 約300ml
連続使用時間	約13時間 H運転時
適用床面積	木造和室 約5畳 / プレハブ洋室 約8畳 (使用状況、環境により異なります)
質量	約1.5 kg (本体のみ)
水タンク容量	約4L
付属品	掃除用ブラシ
材質	ポリプロピレン・アルミ

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

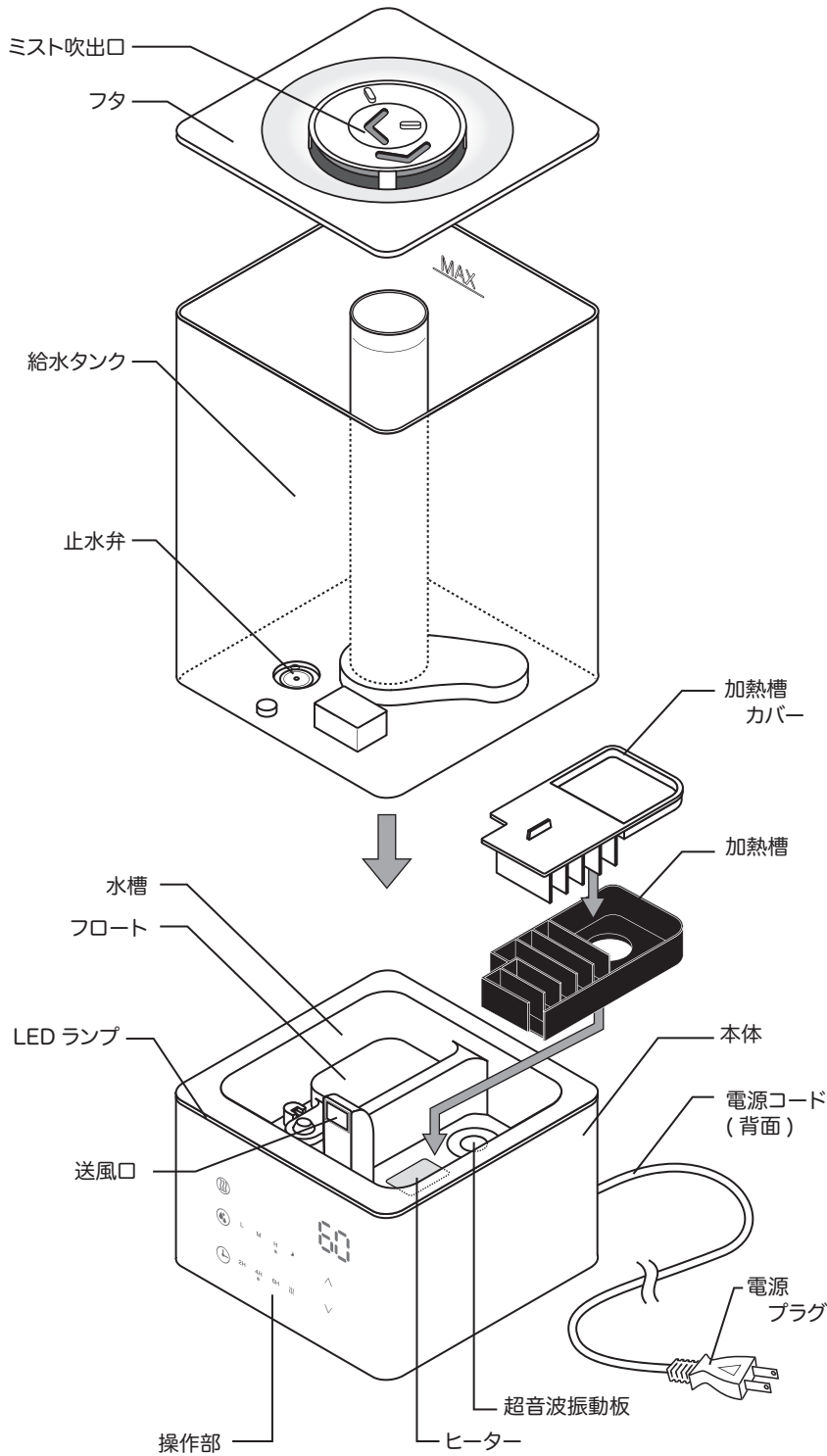
⚠ 警告

- 本体及び付属品の内部（給水タンクや本体水槽以外）に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。感電や回路ショートなどによる火災や事故の原因となります。
- 電源プラグは、家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災や感電などの原因となります。
- 静電気の発生しやすい場所に設置して使用する場合は、十分注意してください。本製品の故障や感電・火災の発生する恐れがあります。
- お子様のおもちゃ（玩具）として使わせないでください。また、遊ばないよう監督してください。本体を転倒させると水が溢れ、周辺の内装品に損害が出る恐れがあります。
- 傾いた場所や棚などの、不安定な場所に置かないでください。転倒して水をこぼしたりすると本体の破損、ケガの原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や花瓶・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災や感電の原因となります。重い物などが置かれて落下した場合、ケガの原因となります。
- パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品・家具・楽器・壁にあたる所では設置しないでください。ミストが触れたり転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障や対象の表面を傷める原因となります。
- 吹出口の風が家具・壁や他の家電製品に直接当たる場所に置かないでください。家具や壁のシミ、他の家電製品の故障や火災の原因となります。
- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所やストーブのそばに置くと、火災や感電の原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
- 熱を発生する物の近くに置かないでください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動して使用しないでください。給水タンク内の空気が膨張し、水があふれ出ることがあります。プラスチック部分が変形・変色することがあります。
- 高温多湿の環境や油煙・ホコリの多い所に置かないでください。本製品の故障や感電・火災の発生する恐れがあります。
- 換気の悪い場所に置かないでください。熱がこもり本製品の変形や故障・火災の発生する恐れがあります。
- 壁・寝具・カーテン・家具などから十分離して設置してください。
- 押入れや箱の中など、風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロスやカーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- 仰向け・横倒し・逆さまにしないでください。
- 超音波振動板、加熱槽には直接触れないでください。運転中、運転直後は大変高温になり、ケガや事故の原因となります。

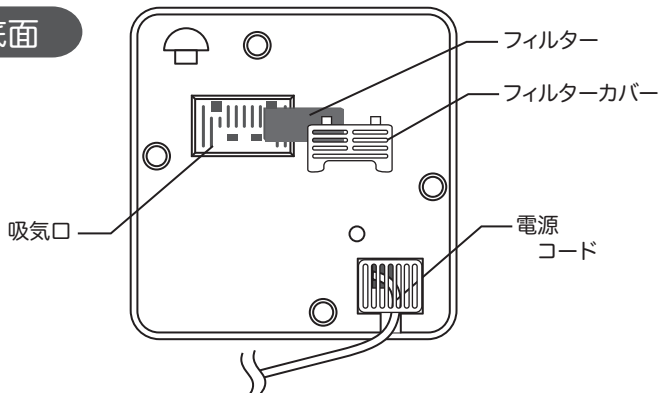
⚠ 注意

- 電源プラグを抜く時は必ず電源プラグを持って抜き、電源コードを引っ張って抜かないでください。電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、給水タンクと本体水槽の水を捨てた後、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となります。
- 使用中や使用直後は持ち運びをしないでください。水がこぼれたり感電する恐れがあります。
- ミスト吹出口・吸気口をふさがないでください。変形や故障の原因となります。
- ご使用になる時は、本製品やコードなどを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本製品の上に重いものを載せたり、本来の目的以外に使用しないでください。ケガや故障の原因となります。
- 本製品に衝撃を与えないでください。故障やケガの原因となります。
- 本製品を持ち上げる際は、両手で水平に持ち上げてください。無理な体勢で取り扱うと、落下して本製品が故障する恐れがある他、ケガなどの原因となる恐れがあります。
- 同じ場所で長時間ご使用の場合は、製品下部や床周辺などの汚れに注意してください。シミがついたり、カビの発生・変形・変色の原因となります。
- 凍結の恐れがある時は、給水タンクと本体水槽の水を捨ててください。凍結したまま使用すると故障の原因となります。
- 水道水以外は使用しないでください。一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因となります。
- 給水タンクおよび本体水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替えてください。常に清潔を保つよう定期的にお手入れをしてください。お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカによりカビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。このような場合は、医師に相談してください。
- 冬場に就寝する際、暖房器具を止めてしまうと室温が徐々に低下し、空気が保水できる量が下がってくる為、加湿器のミストが空気中に拡散されにくくなります。長時間続くくと水漏れしたように水溜りとなることがあります。

各部の名称

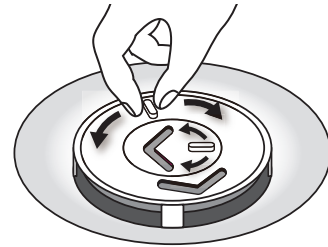


本体底面

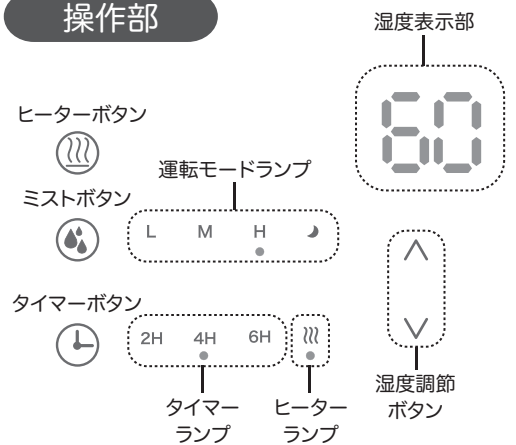


ミスト吹出口

ミスト吹出口は 2 層になっておりそれぞれ別々に回転しミストの噴出方向を調整できます。



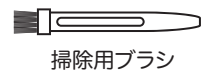
操作部



ヒーターボタン	タッチ：ヒーター機能 ON/OFF
ミストボタン	タッチ：運転開始 / モード切り替え -OFF
タイマーボタン	タッチ：切タイマー ON / 予約時間切り替え
湿度調節ボタン	▲ タッチ：押すたびに +5%(上限 80%) ▼ タッチ：押すたびに -5%(下限 40%)

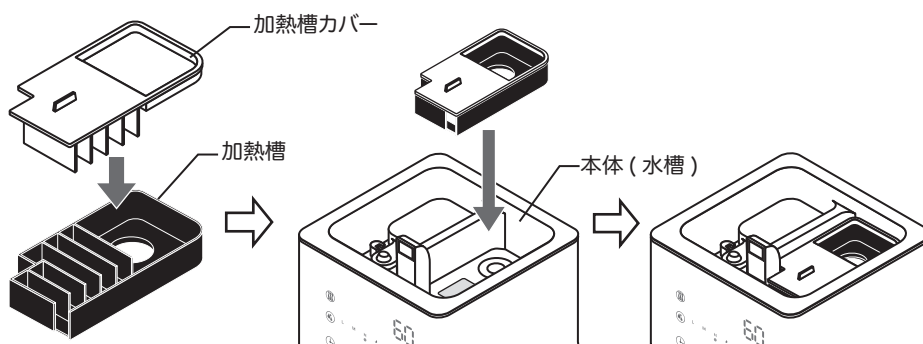
※各操作部分の詳細は **正しい使い方** 内をよくお読みください。

付属品



ご使用前の準備

- ① 本体水槽内に加熱槽と加熱槽カバーが確実にセットされていることを確認してください。



- ② 本体に給水タンクを確実に取り付け、硬く水平な場所に設置してください

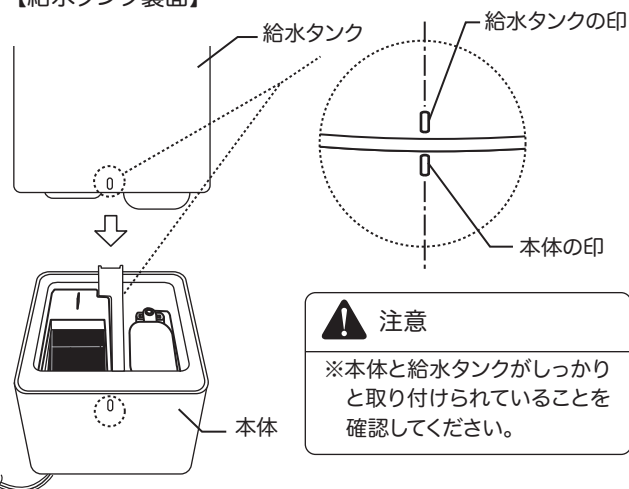
- 右図のように給水タンク下部の印と本体の本体背面の印を合わせて乗せてください。



注意

※パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品・家具・楽器・壁にあたる所では設置しないでください。
ミストが触れたり転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障や対象の表面を傷める原因となります。
※給水タンクや水槽に、水道水以外は入れないでください。水道水(飲料水)は抗菌処理がされているので、カビや雑菌が繁殖しにくい。

【給水タンク裏面】



注意

※本体と給水タンクがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

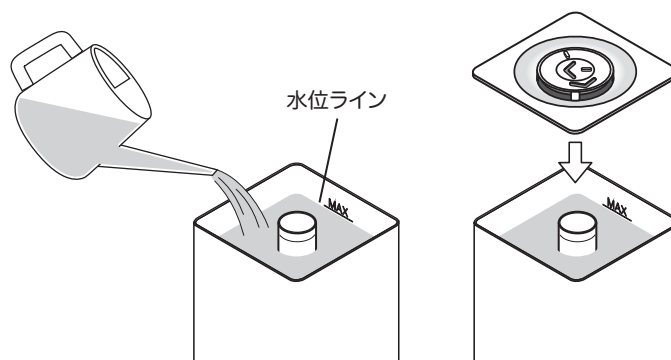
- ③ 給水してください

- 給水タンクにじょうろや水差しなどを使用して、きれいな水道水を注ぎ、フタをしてください。
※フタをした状態でも給水可能です。その際は水位ラインを超えないようご注意ください。



注意

※給水タンクを取り外して直接水道蛇口から給水しないでください。持ち運びの際に落下し、破損する恐れがあります。



エッセンシャルオイルを使用する場合

- 本製品はエッセンシャルオイル(天然抽出成分 100 パーセント)を直接給水タンクに垂らすことができます。



注意

※エッセンシャルオイルは付属していません。
※エッセンシャルオイル(天然抽出成分 100%)以外の合成香料を使用したり、多量のオイルを入れたりしないでください。
※超音波振動板に直接オイルを垂らさないでください。

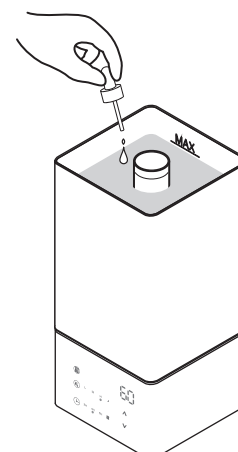
アロマウォーターを使用する場合

- アロマウォーターは給水タンクに直接入れてご使用いただけます。ご使用の際にはアロマウォーターの使用方法・使用上の注意をよくお読みになり、必ず容量用法を守ってご使用ください。



注意

※アロマウォーターは付属していません。
※市販のアロマウォーターには、水溶性以外のもの、超音波加湿器での使用に適さないもの、界面活性剤多く含まれているものがあります。お使いになる際は販売元にご確認の上、用法容量を守ってご使用ください。



正しい使い方

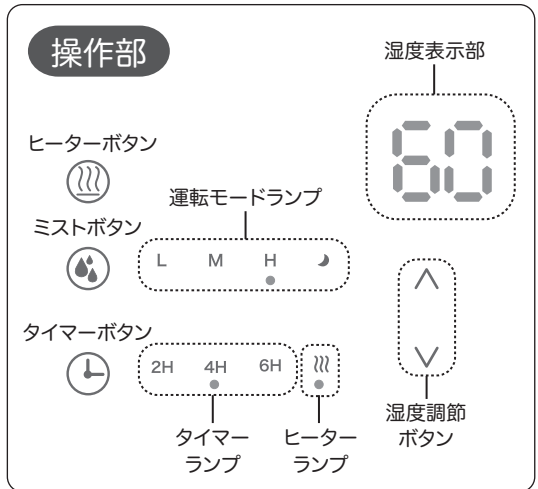
運転の開始／噴霧量の調整／停止

① 電源プラグをコンセントに差し込んでください

- 電源コードやコンセントに負荷のかからないよう電源プラグと本体の位置に十分ご注意ください。
- 通電するとLED ライトと湿度表示部が約 5 秒点灯します。

② ミストボタンを押して運転を開始します

- ミストボタンを押すとLED ランプが点灯し、Low モードで運転を開始します。
※運転開始時のボタン操作は短くタッチしてください、長押しするとエラー音がなり起動しません。
- 電源が入ると、本製品で計測された現在の湿度が湿度表示部に表示されます。
※表示される湿度は目安です。お使いの湿度計の表示とは値が異なる場合があります。



注意

- 湿度設定の初期設定は 60% に設定されています。湿度設定を行った場合は前回の湿度設定で運転を開始します。
※湿度設定は停電や電源プラグが抜けたときは初期設定に戻ります。
- 現在の湿度が設定湿度を上回る場合はミストが発生しません。その場合は次ページの「湿度を設定する」を参考に湿度設定を現在の湿度よりも高く設定し直していただくか、湿度設定を 40% 未満か 80% を超えるよう設定し、湿度設定機能を OFF にしていただくミストが発生します。(湿度設定機能が OFF になると湿度表示は[CO]に変わります。)

③ ミストボタンを押すたびに、3段階の噴霧レベルとスリープモード、運転停止を繰り返します。

- 現在の運転モードのマークの下部にランプが点灯します。

スリープモードとは

- ①Low モードの噴霧量になり、しばらくするとLED ランプ・湿度表示部が消灯します。
- ②スリープモードを一時的に解除したい (LED ランプ・湿度表示部を点灯させたい) 場合は一度いずれかのボタンを押すと約 5 秒間再び点灯します。
- ③スリープモード運転中にモード変更したい場合は、一度スリープモードを解除し、再度ミストボタンを押すと Low モードに戻ります。
- ④スリープモード運転中から運転を停止する場合は一度いずれかのボタンを押してスリープモードを解除してから、再度ミスト ボタンを長押ししてください。

- 運転停止直後は約 10 秒程度ファンが回り、その後完全に停止します。



ミストボタンを押すたびに下のよう
に切り替わります。



- L : Low モード (約 100ml/h)
- M : Medium モード (約 200ml/h)
- H : High モード (約 300ml/h)
- ☾ : スリープモード (約 100ml/h)

※スリープモード運転中に次のモードに切り替える場合は一度スリープモードを解除してください。

④ 運転終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください

- ファンが完全に停止するまでは、電源プラグを抜かないでください。



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
※火災・故障の原因になります。



注意

※長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。
※運転中に停電や電源プラグが抜けたときは、初めから操作をやり直す。
※運転終了後は、残った水を必ず捨ててください。お手入れをせずに保管すると、水アカやカルキが付着し、においや故障の原因となります。


水位感知センサーの働き

- 本体水槽の水が少なくなると自動的に運転が停止します。
- 給水タンクが本体に正しく接続されていない場合や、給水タンクを外すとセンサーが作動し運転を停止します。
- 運転が停止した場合は「ご使用前の準備」の注意事項をご確認のうえ、再度電源を入れ直してください。

正しい使い方



湿度を設定する

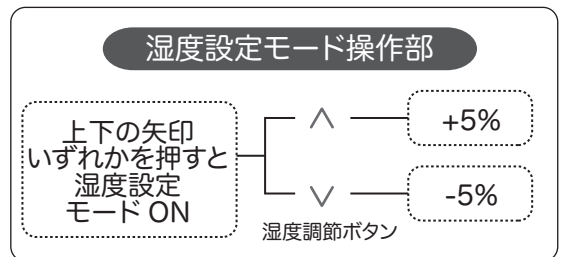
- 湿度設定の初期設定は60%に設定されています。湿度設定を行った場合は前回の湿度設定で運転を開始します。
- 設定湿度を上回るとLEDランプがついた状態で自動的に運転が停止し、設定湿度を下回ると自動的に運転を再開します。
※湿度設定は停電や電源プラグが抜けたときは初期設定に戻ります。
- 湿度表示部が数字を表示している場合は湿度設定機能がON状態、湿度表示部が[CO]を表示している場合はOFF状態です。
- 湿度表示部の数字が点滅している時は湿度設定モードになっています。湿度設定モードは約5秒間操作をしなければ終了します。

①湿度調節ボタン  上下の矢印のいずれかを押しと湿度設定モードになり、湿度表示部が初期設定の60%を示して点滅します

- 湿度設定機能がOFFの状態では、湿度調節ボタンを押しても反応しません。

②数字が点滅した状態で  湿度調整ボタンを押すと40%から80%の間で湿度の設定が可能です


-  上矢印を押すたびに設定湿度を5%ずつ上げることができます。
 -  下矢印を押すたびに設定湿度を5%ずつ下げることができます。
- ※設定値を素早く変更したい場合は矢印ボタンを長押ししてください。




③湿度表示部の設定値がご希望の数値になったら操作を止め、現在の湿度表示に切り替わるのをお待ちください。

- 湿度設定の操作後5秒間操作をしないと、その時点の数値に設定され湿度表示部は現在の湿度表示に切り替わります。

④湿度の設定値が40%を下回るか、80%を超えると湿度表示部が[CO]を示し、湿度設定機能がOFFになります

- 湿度設定機能をOFFにすると湿度に関わらず連続で運転を続けます。
- 再び湿度設定機能をONにする場合は  湿度ボタンのいずれかを再度押し、湿度設定が40%以上か80%以下になるよう設定しなおしてください。


ヒーターモード運転にする


- 運転中に  ヒーターボタンを押すと操作部のヒーターランプが点灯し、ヒーターモードで運転を開始します。
 - 30分~40分かけて本体(加熱槽)内の水を加熱します。
- ※ヒーターモード運転直後の加熱槽、加熱槽カバー、ヒーター部分は高温になりますので直接手を触れないでください。



※ヒーターモード時は、水温でミストの量を調節している為、水が温まるまではミストが出ていないように見える場合がありますが、水槽内の水が温まるとミストが出てきます。

切タイマーを設定する

- 運転中に  タイマーボタンを押すと設定した時間になると自動で運転が停止するように、切タイマーを3段階に設定可能です。
- 切タイマー設定時でも、ミストボタンを操作して電源がOFFになると、切タイマーの設定も解除されます。

 タイマーボタンを押すたびに下のように切り替わります。



※タイマーボタンの操作でタイマー機能をOFFにした場合でも、ミストの運転は停止しません。

お手入れと保存



警告

- お手入れの際は必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体の水を捨ててからお手入れを行ってください。感電の原因となります。
- お手入れの際は塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤は絶対に使用しないでください。
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付けてください。火傷・けが・故障の原因となります。
- 給水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れないでください。ケガや故障の原因となります。
- 本体の丸洗いはしないでください。底部にある電気部に水が入ると故障の原因となります。



注意

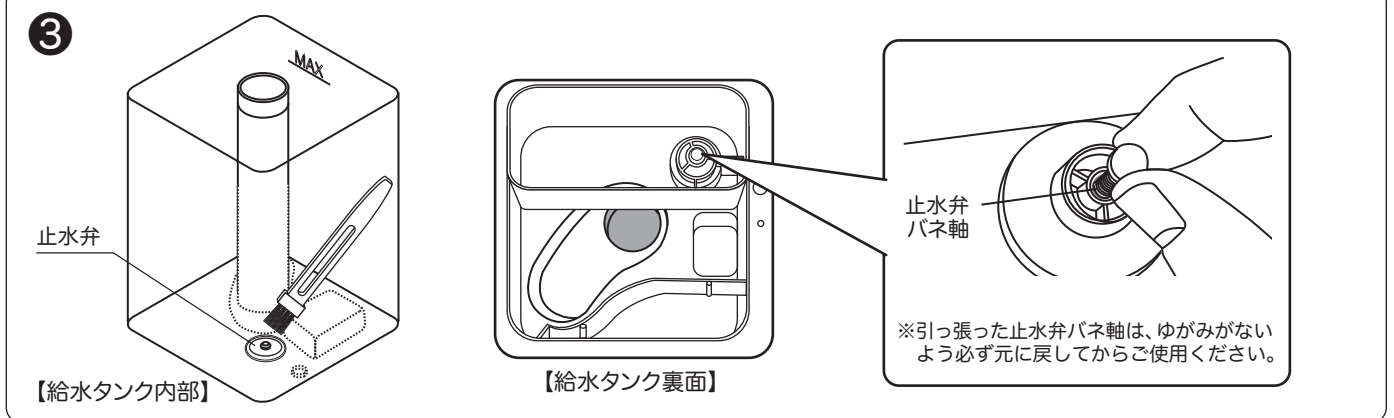
- ベンジン・シンナーで拭かないでください。変色や変形の原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってご使用ください。
- 給水タンク及び水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替えて、内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れください。お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因となります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- 水道水以外は使用しないでください。一般的に水道水は塩素処理殺菌されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ずきれいな水道水をご使用ください。

各パーツのお手入れ

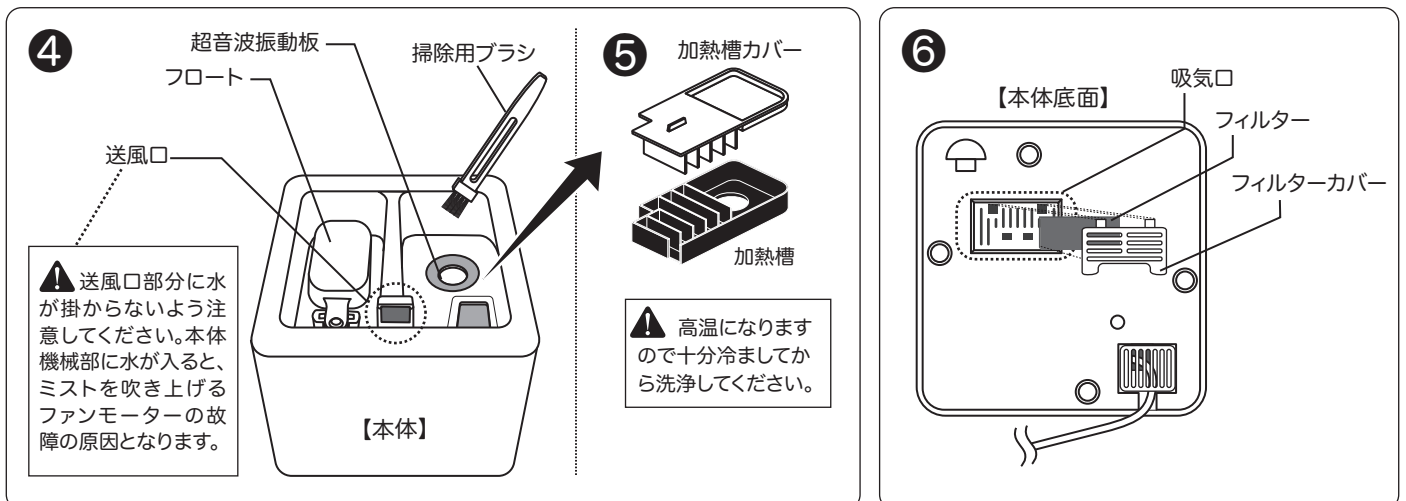


ヒーター部分、加熱槽と加熱槽カバーは高温になりますので、お手入れの際は十分冷ましてから行ってください。

- ①本体に残っている水は捨て、よく乾燥させてください。
- ②給水タンクと本体は、2週間に1回を目安にお掃除してください。
- ③給水タンク内部の止水弁にゴミが詰まると水漏れの原因となります。掃除用ブラシなどでお掃除してください。給水タンク裏側からも止水弁バネ軸を指で回転させ、綿棒などで念入りにお掃除してください。



- ④本体内部（超音波振動板やフロート部分）の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭き取りさらに乾いた布でやさしく拭き取ってください。樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。
 - ⑤加熱槽・加熱槽カバーは、しっかり冷ましてから取り外して中性洗剤で洗浄してください。
 - ⑥吸気口にホコリなどがたまっている時は、フィルターカバーを取り外しフィルターに付いたホコリなどを清掃してください。
- ※お掃除の終わりには、給水タンクに水を入れ、水漏れがないことをお確かめの上、ご利用ください。
- ※ミストの吹出口や止水弁を掃除する時は、綿棒などをご使用ください。



修理・サービス



警告

修理技術者以外の方は分解修理を行わないでください。

「故障かな？」と思ったら

■電源が入らない。

●本体及びコンセントは正しく接続されていますか？ → 電源プラグをコンセントから一度抜き、差し直してから電源を入れ直してください。

■ミストが出ない。ミストの出が悪い。

●設定湿度が現在の湿度よりも低く設定されていませんか？

→ 湿度設定機能を OFF にしていただくか、湿度設定を現在の湿度よりも高く設定し直してください。(湿度を設定するを参照)

●給水タンクの水が無くなっていませんか？ → 給水タンクに給水してください。

●給水タンクに水を入れすぎていませんか？ → 水位ラインを超えて水を入れると、ミストが正常に発生しない場合があります。

●吸気口が汚れていませんか？ → 吸気口にホコリなどが付着していると、空気の流れる量が減りミストが出にくくなります。

●風のある場所で使用していませんか？ → エアコンの近くなど気流のあるところで使用すると、ミストが見えにくくなる場合があります。

●気温や湿度など周囲の環境によってミストが見えにくくなる場合があります。

→ ミストが見えなくても水タンク内部で正しくミストが発生し、送風ファンが作動（モーター音が聞こえる）している場合は故障ではありません。

●超音波振動子にエッセンシャルオイルなどの油分が付着しますと正常に動作しなくなることがあります。→ 綿棒等で軽く拭き取ってください。

■悪臭がする。

●水道水以外を使用していませんか？ → 「お手入れと保存」ガイドに従って掃除してください。

■給水タンク内と周囲に白い粉状のものが付着している。→ 水道水に含まれるカルキです。こまめにお手入れして拭き取ってください。

修理を依頼される時は

■保証書は必ず「販売店名・お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただきお買い上げのレシートと共に大切に保管してください。保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。保証期間が過ぎていた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

長年ご使用の場合は良く点検を

■このような症状はありませんか？

●電源コードが異常に熱い。

●コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。

●こげ臭いニオイがする。

●その他の異常・故障がある。

※このような症状の時は、事故防止のため電源を切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店又は株式会社キシマお客様相談室に点検をご相談ください。

保証書

品名：ハイブリッド超音波加湿器	
品番：KNA88117	
お買い上げ日 年 月 日 (保証期間：お買い上げ日から1年間)	
販売店名	
お客様	お名前
	ご住所 〒
	電話

※購入日を証明するレシートまたは送り状等を必ず添付してください。

【無償修理規定】

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意事項に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。

※ネットオークションでお買い上げ頂いた場合、保証が適用されない場合があります。無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または株式会社キシマお客様相談室までお申し付けください。次のような場合は、保証期間内でも有償修理となります。

- ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ②お買い上げ後の落下や輸送上の故障及び損傷。
- ③火災・ガス害・地震・風水害・落雷・異常電圧及びその他の天災地変による故障及び損傷。
- ④本書のご提示がない場合。
- ⑤本書にお客様名・お買い上げ日・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ⑥一般家庭以外(たとえば業務用など)にご使用の場合の故障及び損傷。
- ⑦ご使用後のキズ・変色・汚れ及び保管上の不備による損傷。
- ⑧腐食による故障及び損傷。
- ⑨樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部等の損傷。
- ⑩故障の原因が本製品以外(電源など)にあつてそれを点検、修理した場合。

本書は国内においてのみ有効です。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従つてこの証明書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 キシマ

事業本部 〒669-1313 兵庫県三田市福島 501-9

お客様相談室 079-563-2196

〈祝祭日、土曜・日曜を除く9:30~17:30〉

株式会社 キシマ

事業本部 〒669-1313 兵庫県三田市福島 501-9

お客様相談室 079-563-2196 〈祝祭日、土曜、日曜を除く 9:30~17:30〉